



かわごえ



民児協だより

〔第76号〕

平成31年1月発行

川越市民生委員児童委員協議会連合会広報部会／川越市小仙波町 2-50-2 川越市社会福祉協議会内 ☎049(225)5703・FAX049(226)7666



新しい時代の幕開け

川越市上戸新町 入間川河川敷にて

撮影者 清水 直哉



川越市民生委員
児童委員協議会連合会
会長 芝波田 静香

明けましておめでとうございませう。

皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、各地で地震や台風など自然災害に見舞われ、また異常気象による大雨洪水や猛暑日の多い年でした。改めて、日常の見守りの大切さを痛感し、例年以上に熱中症予防の注意喚起と、併せて振り込め詐欺等の犯罪抑止に向けた呼び掛けをしてまいりました。

今日、地域の方が抱えておられる福祉課題は複雑多様化し、中には深刻化しているケースも見られます。精神的・経済的不安を抱えておられる方、孤立・孤独の方も高齢者に限りません。また、未来を担う子どもたちが健やかに育つことができるよう「身近な大人」として応援し、主任児童委員と地区担当児童委員の連携した取り組みが不可欠にな

つてまいります。

そのような状況の中、自治会のご協力により、三年に一度の居住者カードによる世帯調査を実施することが出来ました。

私共の職務をご理解いただき提出いただいたカードは、担当地区内の世帯状況を把握し、支援や援護が必要な方への福祉活動を行うと共に、災害時等の緊急対応にも備えた貴重な資料として活用してまいります。

近隣同士のつながりが希薄化する中、今後も地域の良き隣人として、地域の方々に寄り添いながら、様々な声に耳を傾け、誰もが安心して住み続けることができる地域福祉の一端を、皆様と共に担ってまいります。

本年が平穏な年でありますことを願い、皆様方のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

新年を迎えてのあいさつ



社会福祉法人
川越市社会福祉協議会
理事長 小川 倫勝

明けましておめでとうございませう。

民生委員・児童委員の皆様には、希望に満ちた新春を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から川越市社会福祉協議会に対しまして、あたたかいご支援とご協力をいただいておりますこと、心から厚く御礼申し上げます。

今日の地域社会は、少子高齢化の急速な進行に伴い、高齢者のみの世帯の増加や、引きこもりによる社会的孤立、生活困窮や虐待、さらには子どもの貧困など様々な課題が深刻化しております。

このような状況下において、地域における生活課題の解決や生活支援活動に民生委員・児童委員の皆様が一丸となって取り組まれ、市民に最も身近な相談役と

して、大変重要な役割を担っていただいておりますことに心より感謝申し上げます。

川越市社会福祉協議会といたしましては、地域福祉の中核的役割を担う団体として、多様化する福祉ニーズに柔軟に対応すべく地域福祉の推進に向け、民生委員・児童委員の皆様をはじめ、各種の関係団体・機関等と連携を図り、地域に根

ざした福祉の充実に向け、より一層取り組んでまいります。今後とも「安心して暮らせる心豊かなまち川越」を目指して、子ども、高齢者、障害者などすべての人々が生きがいとともに創り、高め合うことができ

る「地域共生社会」を実現するため、努力を重ねてまいります。

民生委員・児童委員の皆様におかれましては、地域

福祉の推進に今後とも、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、民生委員・児童

地域の活動紹介

霞ヶ関地区

鹿山 久男

平成の時代も、あとわずかになり少し感傷的になる時期です。皆様方はいかがお過ごしですか。

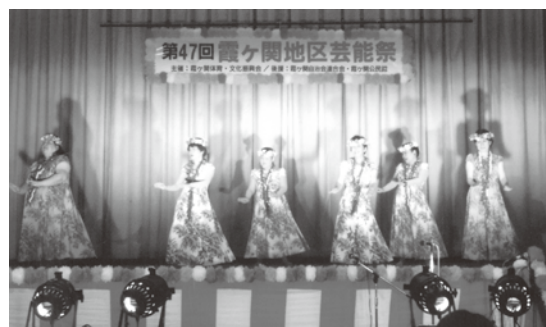
今回、地域の活動紹介の依頼をうけて、霞ヶ関支会の中で芸能祭について、紹介したいと思います。

この事業は、霞ヶ関地区住民や公民館登録グループの人々が一堂に会して、芸能祭で日頃の学習を発表しあうことにより文化に対する意識の向上を図ることができ、地域文化の振興と住民相互の親睦を深めることを目的としています。

芸能祭は、昭和四十六年度から数えて今年で四十七回目を迎えました。平成三

委員の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます、新春のごあいさつといたします。

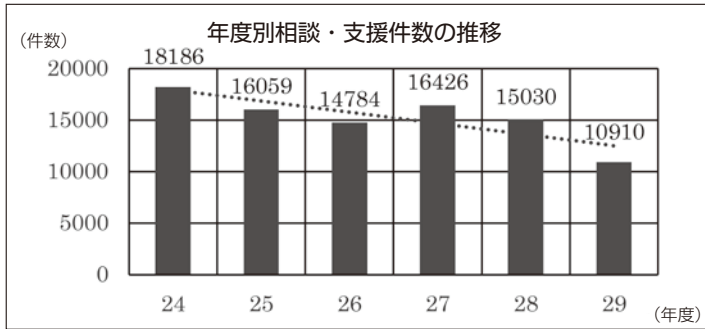
十年十一月十一日(日)霞ヶ関小学校体育館三階で、九時に開演しました。各自治会より多数の方々が、日ごろの練習成果をこのステージで披露し、皆様より多数の歓声と拍手が鳴りやみませんでした。プログラムは五十八演目あり、詩吟、民舞、民謡、歌謡、フラダンス等多彩



に披露されました。中でも倉ヶ谷戸自治会は、多彩な演目を披露して観客を魅了していました。同時に抽選会が三回実施され多数の方々が景品を受け取りました。今回も観客席が四百席以上用意されましたが、満席になり楽しんでいただけだと思います。当日は公民館で文化展も開催され、霞ヶ関地区保健推進員による血圧測定、体脂肪測定ほか健康相談を行いました。

霞ヶ関地域では、今後とも住民相互の親睦を深めるため、このような事業を通じ霞ヶ関地区住民活動の周知を図っていきます。

<グラフ1>



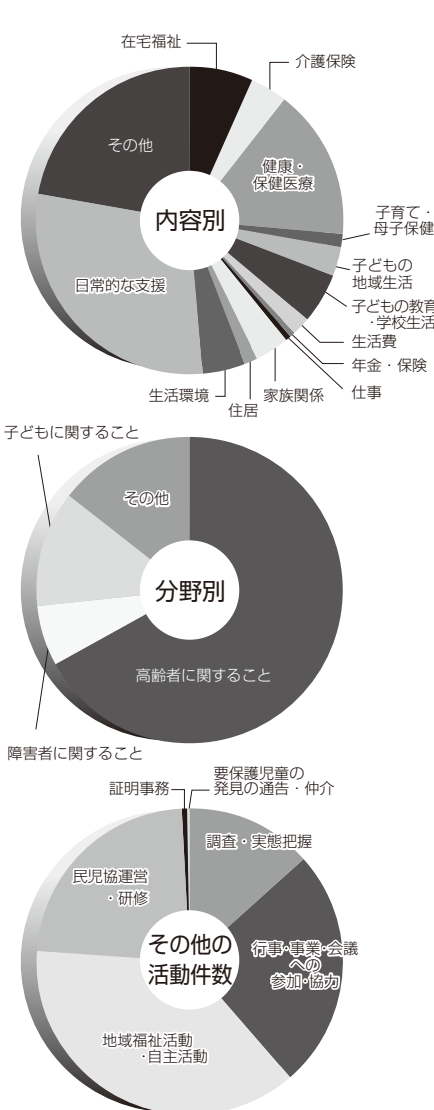
平成二十九年度の年間活動記録集計が報告されており、その内容を振り返り今後の民生委員・児童委員としての活動に役立てましょう。平成二十九年度は前年の二十八年度と比較し「相談・支援件数」が四千件以上減少しております。「その他の活動件数」および「訪問回数」、「一人当たりの活動日数」には大きな変化は

平成二十九年度の「活動記録」報告より

平成二十九年度の年間活動記録集計が報告されており、その内容を振り返り今後の民生委員・児童委員としての活動に役立てましょう。平成二十九年度は前年の二十八年度と比較し「相談・支援件数」が四千件以上減少しております。「その他の活動件数」および「訪問回数」、「一人当たりの活動日数」には大きな変化は

平成二十四年度までのデータを調査（グラフ1参照）すると途中年度での多少変化はありますが、全体として減少傾向となっております。内容別、分野別の傾向を調査すると、①内容別では「健康・保健医療」、「その他の相談・支援件数」が減少、②分野別では「高齢者に関する相談・支援件数」、「子どもに関すること」の減少が見られます。

この減少が良い傾向にあると解釈すれば、川越市においては高齢者に関する健康や保健医療の知識が深まり、子育ての不安も年々減少しているとも考えられます。また、この傾向要因が川越市の社会福祉推進の成果であるとするれば大変喜ばしい状況です。しかしながら、近年における個人情報に関する意識の高まりが、民生委員・児童委員に



H29.4.1～H30.3.31時点
民生委員・児童委員 482人

	合計件数	比率	1人当たり件数/月	
内容別	在宅福祉	757	6.9%	0.13
	介護保険	422	3.9%	0.07
	健康・保健医療	1,697	15.6%	0.29
	子育て・母子保健	174	1.6%	0.03
	子どもの地域生活	340	3.1%	0.06
	子どもの教育・学校生活	561	5.1%	0.10
	生活費	227	2.1%	0.04
	年金・保険	59	0.5%	0.01
	仕事	51	0.5%	0.01
	家族関係	377	3.5%	0.07
	住居	173	1.6%	0.03
	生活環境	485	4.4%	0.08
	日常的な支援	3,182	29.2%	0.55
	その他	2,405	22.0%	0.42
計	10,910	100.0%	1.89	
分野別	高齢者に関すること	7,310	67.0%	1.26
	障害者に関すること	700	6.4%	0.12
	子どもに関すること	1,334	12.2%	0.23
	その他	1,566	14.4%	0.27
	計	10,910	100.0%	1.89
その他の活動件数	調査・実態把握	9,715	13.5%	1.68
	行事・事業・会議への参加・協力	18,306	25.3%	3.16
	地域福祉活動・自主活動	27,091	37.5%	4.68
	民児協運営・研修	16,649	23.1%	2.88
	証明事務	414	0.6%	0.07
	要保護児童の発見の通告・仲介	47	0.1%	0.01
計	72,222	100.0%	12.49	
訪問回数	訪問・連絡活動	73,938		12.78
	その他	55,604		9.61
	計	129,542		22.40
連絡調整回数	委員相互	37,291		6.45
	その他の関係機関	23,302		4.03
	計	60,593		10.48
活動日数		82,927		14.34

も相談し難い状況になっていくことが要因ならば、改善の必要があるように思われます。いずれにしても、私たち民生委員・児童委員

は、「守秘義務のある、民生委員・児童委員のあなたへなら相談できる」と担当地区に住む方々に感じていただけることが必要で

す。そのために、私たちは日々の活動を通じて、これまで以上に信頼関係を強化することが大切になると考えます。

生きがい訪問

● 第二地区 ●

鹿倉萬里子さん



戦後すこし落ち着いた昭和二十七年、川越市職員に採用され、与えられた仕事は、戦没者の家族の方への弔慰金と年金請求の手続きでした。一か月程すると、厚生省から県を通して決定通知が届き、安堵しました。また、所轄に保育園があり、つぎつぎに新設され、保育士が病気や研修会参加の時など、手伝いに出向き、それが縁で資格を取得し保育士となり、合わせて二十一年間勤務し退職しました。地域に戻り、PTA・育成会役員を引き受け、また自分の生きがい作りを考え、まず「悪筆の克服と楽器を基本から学ぶ」を始めました。

その間、新設の私立保育園二か所に駆り出され、気がつけば五十歳になっていました。

自治会長より民生委員・児童委員推薦のお話をいただいた時、役職の重さをお願い固辞しましたが、先輩方の薦めもあり、家族と話し合い引き受けました。

地域のこともよくわからず不安だらけでしたが、顔を知ってもらえるようになり自信がもてるようになりました。長い月日には、対応に苦慮することや、深夜までかかることもあり、「あく、私の人生すり減った」こんな思いを心の奥底にしまいながら気持ち切り替えていました。関係機関のご指導と、共に活動す



る委員の皆様への支えにより、無事定年退職しました。

今は、地区社協の事業やボランティア活動に参加し、体操教室、手芸教室の会員となり楽しんでいきます。

去る十一月十七・十八日には手芸展を自治会の協力を得て開催し、大勢の方においでいただき、出品者・出品作品もきらきら輝くことが出来ました。

「声をかけてくれる人がいて、今日やることがある」これが私の生きがいです。

● 第四地区 ●

木村たか子さん



この町と共に

この町に私が住むようになったのは、今から五十数年前の事です。その頃の川越は、今とは大分雰囲気の違い、蔵の町の蔵は隠され、高度成長の折、仲町付近は、華々しく夜遅くまでネ



オンきらめく町並でした。そのような時代、私は観光の仕事に携わり日本が成長し発展していく姿を津々浦々見てきたように思います。結婚を機に退職し、子育てをしながら、神社仏閣歴史に興味があり図書館に行っては、本を借りて読んでいました。数年前に川越市文化財委員会に入りませんか？と声をかけていただき、若き日に深く学ぶ事が出来なかつた事を、知識豊かな先輩方に導かれながら、楽しく文化財見学に参加させていた、だいています。また週五日、半日ですが仕事をしながら老人会「松葉クラブ」にも参加して、月一

回、サロン「プレシヤスII」で体操にも参加し、元町の人達に逢えるのも楽しみにしています。私の目標は、出来るだけ長く現役でいる事と、多くの人との出会いと交流を持ちたいと思っている事です。そのような気持ちから、今年の川越祭は大変なスケジュールでしたが、浦嶋のお揃姿で、若い人達に力を借り、祭り囃子に気分を乗せて、楽しく過ごすことができました。歴史、文化遺産の多いこの町を愛して、観光客に道を尋ねられると「丁度私も、そちらの方に行くところよ」と言つて一緒にそこまで案内して、家に帰ってヘトヘト。サービス旺盛になりすぎて、疲れ果てるような事をやっています。六十五才位まで、自分が老人であると思つていなかったのですが、近頃は、耳が変だつたり、喉も変で、声が出にくくなつたりしています。腰も時々痛くなつたり治つたり、年を感じながら身近な友人に恵まれている事が元気の源です。感謝。

地区民児協だより

第十地区

川原 英子

第十地区は、川越市駅・本川越駅周辺の六軒町一・二丁目、中原町一・二丁目、パークファミリア、連雀町、三光町、月吉町、月吉住宅、野田月吉の八つの自治会から構成されています。

地区内には、県立川越女子高校、月越小学校、中央小学校、熊野神社、連馨寺があり、歴史ある商店街や住宅地を含みますが、近年マンション・アパートが増加している地域です。

現在、民生委員・児童委員は十五名、主任児童委員



一名で活動しています。

定例会は、毎月第二木曜 日午後一時半より、会場をもちまわりしています。お互いの町内の雰囲気味わえるのも良い点です。

民生委員・児童委員信条に始まり、配布物、連絡事項の確認や部会・研修報告等行っています。社協の方も参加いただき、新任者も会議の中で、情報交換や問題を共有し、活発に話し合える場になってきています。

地区社協事業と連携・協力し、一人暮らしの高齢者対象の配食は、福祉協力員と共に三十年続いています。年一回の敬老の集いや年末の友愛訪問も行っています。また、オレンジカフェや健康体操と交流の場も広がり、今後も地域の方々

談相手として、信頼関係を築いていきたいと思えます。

福原地区

奥富清二郎

福原地区は市の南部に位置し人口約二万人ほど、緑豊かな雑木林が沢山残っていて四季の移ろいを感じます。畑作地帯でホウレン草、さつまいもなど多種類の野菜を生産しています。

小・中学校は各一校で地区の中心部に隣接し、連携を強め将来小中一貫校を目指しております。地区民児協は年二回の授業参観と校長との懇談のほか各種行事にも参加し、学校と緊密な関係を保ち児童・生徒の見守りを行っております。また毎年三月に実施している



「高齢者の集い」では約二百五十名の皆様の前で小学校一年生と中学校三年生が全員合唱をし、「ふるさと」等高齢者と合唱するなど終盤には、会場中が拍手につつまれ感涙を誘う一大イベントです。

それから市社協のご協力をいただき、民間薬局のオープンスペースを活用し、健康講座を実施し、毎回各界の専門家をお招きし好評を得ております。講演の前後に健康測定、体操など民生委員・児童委員も活躍しています。

そのほか福原民児協は埼玉県民生委員・児童委員大会で優良民児協の表彰を受けました。これは関係各位の皆様のご指導ご支援のたまものと感謝申し上げますとともに、これを機に一層民児協活動に一同邁進していく所存でございます。

受賞

おめでとうございます

【全国社会福祉大会】

厚生労働大臣表彰

（高階）谷口千恵子（高階）醍醐ノリ子

【全国民生委員児童委員大会】

全国民生委員

児童委員連合会会長表彰

（第1）田島 晶子（天東）三村 清子

（第2）小川 道子（天東）石津 和子

（第2）急式 悦子（天東）柳川 誠至

（第3）横山恵美子（天東）渡邊 成子

（第3）三島 晴代（天東）本領美智子

（第3）諸星すみ江（豊岡）坂井富士枝

（第7）平本 和子（豊岡）宮坂 厚郎

（第10）川原 英子（豊岡）小西 きよ

（第10）市川 操子（豊岡）北鶴見由利子

（高階）廣井ミチ子（名細）深川 達也

（高階）山下せい子（名細）堀江 房枝

（高階）瀬倉あさ子（川鶴）大嶋 孝子

（高階）高橋 敦子（川鶴）星野 幸子

（高階）矢島 祥子（川鶴）藤田 昌代

【埼玉県民生委員・児童委員大会】

優良民生委員・児童委員協議会表彰

川越市福原地区民生委員・児童委員協議会

埼玉県知事功労章

（第5）市村 博子

【埼玉県社会福祉大会】

埼玉県知事表彰

（第10）篠崎 貴子（第11）山澄 啓子

埼玉県社会福祉大会会長表彰

（第3）三島 晴代（第10）川原 英子

（第6）神田みづぶ

【川越市社会福祉大会】

川越市社会福祉大会大会会長表彰

【民生委員・児童委員】

（第1）田島 晶子（天東）石津 和子

（第2）小川 道子（天東）柳川 誠至

（第2）急式 悦子（天東）渡邊 成子

（第3）横山恵美子（天東）本領美智子

（第3）諸星すみ江（豊岡）宮坂 厚郎

（第7）平本 和子（豊岡）小西 きよ

（第10）市川 操子（豊岡）北鶴見由利子

（高階）廣井ミチ子（名細）深川 達也

（高階）山下せい子（名細）堀江 房枝

（高階）瀬倉あさ子（川鶴）大嶋 孝子

（高階）高橋 敦子（川鶴）星野 幸子

（高階）矢島 祥子（川鶴）藤田 昌代



第五地区 山本千恵子
第六地区 早川 邦江

第五地区と第六地区では、昨年十月十日（水）から十月十二日（金）まで三日間にわたり東京ビッグサイトにわたり東京ビッグサイトに東展示ホールにて開催された、第四十五回国際福祉機器展H.C.R.2018を視察しました。H.C.Rとは、一般財団法人保健福祉広報協会の略称です。

会場には、車椅子ごと階段を昇り降りできる移動機器や、車椅子に座ったまま乗り降りできる福祉車両、可動式肘掛け手すりを設置されたトイレや、ソファアに座る感覚でフチをまたぐことなく入浴できる浴槽といった大きなものから、握りやすく改良された食器や文房具といった小さなものまで、あらゆる福祉機器が

ライトケイン



ピューラックスのピューちゃん



可動式肘掛手すり

数ありましたが、全てのブースを回る事は出来ず、他にも体験型の展示も多

展示されていました。また、各種シンポジウム、セミナー、特別企画も開催され、連日多数の方が来場し、とても盛況な展示会でした。今回視察してまず感じた事は、介護される側だけではなく、介護を担う方の負担を減らすための支援機器が充実してきた印象です。食品ブースでは、咀嚼・嚥下機能の低下した方向けの介護食の試食で介護食の進化に驚き、移動機器ブースでは、目的別に、多彩な車椅子が作られていることを知り、最新のロボット介護機器に目を見張りました。

第六地区



片手用ロータリー茶碗ホルダー



車いす対応キッチン

残念ながら帰る時間になってしまいました。今回の視察研修では、民生委員・児童委員として対象者からの相談に対応できる情報を得る機会となり、とても有意義な内容になりました。福祉機器の進化は毎年著しいものがあり、来年の開催時にも、驚かされる最新機器を見ることができると期待しています。

主な市民児連活動予定

- 一月十七日 地区民児協正副会長及び部会長新年懇親会
- 二月四日 理事会
- 二月二十一日 会長・副会長研修（県主催）
- 三月四日 理事会
- 三月十五日 役員及び部会長等合同会議
- 四月二十五日 監査会、部会報告会
- 五月十九日 第29回ふれあい福祉まつり

時の鐘

昨年は東京地方では木枯らし一号が吹きませんでした。これは実に三十九年ぶりのことだそうです。また昨年は自然災害の多い年でした。このことは自然の人間に対する警鐘であるとすら感じられます。

さて、ここに民児協だより第七十六号を発行することができました。多忙にかかわらず寄稿いただきました皆様にお礼申し上げます。今回は、平成二十九年年度の活動記録の分析を載せました。我々民生委員・児童委員の活動を検証する上で大いに役立つものと思います。

第七十六号の編集担当は、急式悦子、助川和江、早川邦江、増田佳子、山岸富子、山本千恵子、渡辺耕造の七名です。



川越市社会福祉協議会のホームページに「民児協だより」が掲載されています

川越市社会福祉協議会ホームページ

左側のメニューから「福祉団体」をクリック

市民児連の「民児協だより」の名号をクリック

川越市社協 検索